

曖昧な境界(線)に触れる — ゴマをする

ワークショップ

2016 **2**
sun.
28

(時間) 13:00—16:30

講師

(美術家)

森本絵利

もりもと えり

- ◆会場：当館1階・体験学習室
- ◆対象：どなたでも(20名)
※小学生以下は要保護者同伴
- ◆参加費：200円
- ◆持ち物：すり鉢、すりこぎ

森本絵利
1978年大阪府生まれ。2003年京都市立芸術大学大学院美術研究科(絵画)修了。自らが定めたルールに従って紙を細かく切り刻む行為や、絵具の点をカウントしながら平面を埋めていく絵画など、そのものの存在がいかに成立しているかを、表裏であるその過程と結果を表現として作品制作する。主な展覧会に「VOCA展」(上野の森美術館 2008)など。

内容 すり鉢とすりこぎを使い、作業の過程に注目しながらゴマを練りゴマに変化させてゆきます。ほんの少しずつ確実に変わってゆく中でも、どの瞬間にゴマから練りゴマに移行するのか、それは中々つかみとることが出来ません。不透明なこの世界の中で、何かが何かに変化してゆく様を眺めながら、曖昧な境界(線)に触れる体験をしたいと思えます。(その後、ゴマを食べます。)

←このワークショップイベントは事前申込制です。

2月21日(日)までに電話またはメールで氏名(学生は学年も)、住所、電話番号をお伝えください。
※応募者多数の場合は抽選。

(TEL) 0797-38-5432

(メール) ashiya-bihaku@shopro.co.jp

Bihaku Room
／びはくルーム

芦屋市立美術館
Ashiya City Museum of Art & History
〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25
TEL0797-38-5432
<http://ashiya-museum.jp>

アクセス
◆徒歩/阪神電車芦屋駅から南東へ徒歩15分
◆バス/「新浜町行き」(31・32・35・36系統)乗車、「緑町(美術館前)」下車
(バスのりば/阪神電車芦屋駅南側2番、JR芦屋駅北側5番、阪急電鉄芦屋川南側5番)
※併設駐車場1時間無料

アーティストトーク

2016 **2**
sat.
6

(時間) 15:00—16:30

講師

(美術家)

河口龍夫

かわぐち たつ お

- ◆会場：当館1階・講義室
- ◆対象：どなたでも(60名)
- ◆参加費：無料
申込不要、直接会場へ。

内容 美術家・河口龍夫氏が1960-70年代の初期作品を中心に芸術的思考についてお話します。

河口龍夫
1940年神戸市生まれ。1962年多摩美術大学絵画科卒業。1965年グループ(位)結成。芸術表現を単にひとつのスタイルにすることや、視覚にのみ依存する芸術のあるように抗する芸術表現を模索し、作品を精力的に発表し続ける。2008年第15回日本現代芸術振興賞受賞。近年の主な個展に兵庫県立美術館、名古屋美術館(2007)、東京国立近代美術館(2009)ほか。主なグループ展「東京ビエンナーレ1970人間と物質」(1973)、「大地の魔術師たち」(1989)など。

